



川崎市立多摩病院



聖マリアンナ医科大学

42号

冬

たま病院ニュースレター

TAMA Hospital News Letter 2023



緩和ケア病棟は、 がんに伴うつらさをやわらげる病棟です

緩和ケア内科 森山 久美

こんにちは。緩和ケア内科の森山です。2023年11月に多摩病院に着任しました。今回は、緩和ケア病棟を紹介いたします。

当院の緩和ケア病棟は、川崎市北部で2番目の緩和ケア病棟として、2022年5月に開棟しました。4床部屋2室、2床部屋2室、合計12床の病棟です。全室室料差額なしで入院できます。家族控室、キッチン、談話室、面談室も併設されています。



2床部屋

家族控室



キッチン

談話室



緩和ケア病棟では、がんに対する治療は行いませんが、つらさをやわらげることは積極的に行います。根治不可能ながんを抱えた患者さんご家族を支え、「痛み」「苦しみ」「つらさ」などの症状をやわらげ、よりよく過ごすことを目指しています。様々な専門医療スタッフがチームとなり、医療やケアを提供します。また、患者さんの自分らしさを大切にし、市民病院として地域の中で安心して生活できるよう支援します。

緩和ケア病棟では、以下の基準に則り患者さんの受け入れを行っています。

入棟の基準

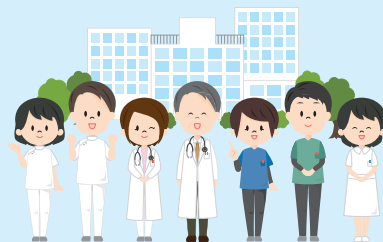
1. 悪性腫瘍の治癒が困難であると医師によって判断されていること
2. 悪性腫瘍による苦痛症状があり、外来通院では症状緩和が難しい状態であること
3. 患者さんご家族が入院を希望されていること
4. 原則として、入院時に患者さんが病名・病状について理解していることが望ましいです
5. ご家族や介護される方の休養（レスパイト）を目的とした短期入院(最長2週間)も可能です

緩和ケア病棟での入院期間の目安は2か月です。症状が緩和され、お体の具合が安定した場合は、ご自宅、在宅ホスピス、他病院などでの療養に移ります。

抗がん剤治療や手術などを希望される場合、がん以外の病気の治療を優先する必要がある場合は、一般病棟または他病院に移り、治療などを行うこととなります。

部門紹介

緩和ケア内科



緩和ケア内科では、がん患者さんとそのご家族のつらさをやわらげる治療およびケアを行います。がんに伴う様々なつらさ（痛みや吐き気など体のつらさだけでなく、家族や仕事への不安、この先どうなるのかという不安や経済的な心配など、目に見えないつらさ）を多職種（医師、看護師、薬剤師、臨床心理士、管理栄養士、理学療法士など）で診ていきます。より良い日々を過ごせるよう寄り添います。地域とのつながりも大切にしています。

カリタス女子高等学校による クリスマス奉仕が行われました

2023年12月5日にカリタス女子高等学校3年生の方々が手作りしたステンドグラスをお持ちいただき、外来周りと各病棟ダイニングに飾り付けを行っていただきました。色鮮やかなステンドグラスにより、病院内の雰囲気明るくなりました。併せて、入院患者さんへ向けたクリスマスカードもいただきました。

この場をお借りしまして、カリタス女子高等学校の皆様、ありがとうございました。

